

社報「志氏」第132号

志氏神社
四日市市大宮町14-6
TEL:FAX(059)331-0620

印刷所 水九印刷(株)
責任者 社報編集委員会



除夜祭 大かがり火



初詣



年越し詣り

- ・ **大祓式** 12月25日 9時～16時
人も車も大祓して新年を迎えましょう!
- ・ **歳旦祭** 1月1日 10時より
かがり火で、無病息災を!
- ・ **初詣** 1月1日～7日
氏神さまに新年のごあいさつ!
- ・ **古札焼納祭** 1月15日 9時～15時まで
(どんど焼) 古いお札に感謝の心を!
- ・ **節分祭・厄除祭** 2月3日・5日 9時～15時
祓之宮で厄除御祈禱を!

各種祈禱受付(ご予約願います)

○新年祈禱

新しく年を迎え、今年一年を無事息災で清々しい気持ちで安全に過ごすことが出来るよう諸々の新年祈禱を元日より承っております。特に、厄除は年始より節分までに済ませるのが良いとされております。



◆新年安全祈願祭

一年の工事や作業、業務などの安全を願い、事業、商売の成功を祈念するお祭りです。また、新しい一年をご家庭の皆様が健康で幸せに過ごせますようお願いする新年家内安全の御祈願も承ります。

◆合格祈願

心身健全に勉学・研究に励み、入学試験や国家試験、採用試験や資格・就職試験などのさまざまな目標が達成できますように、ご神前にて合格祈禱をご奉仕致します。



◆厄除

厄除は「前厄・本厄・後厄」とあり、男性42歳と女性33歳は厄年の中でも一生の大厄とされています。不幸や災難を避け、「厄」が転じて「福」となりますよう、御祈願致します。

◆家内安全

家庭の平安を祈願するお祭りです。

◆交通安全・車祓

お車を替えられた時等の交通安全を祈るお祭りです。

◆初宮参り

子供が無事に誕生したことを氏神様に報告・感謝し、子供の健康と成長、今後のご加護をお願いするお祭りです。

◆病氣平癒

病、怪我を患っている方の回復を願うお祭りです。

◆除災招福・心願成就・開運道開き

種々の災いを取り除き、願いが叶い、幸福を招くお祭りです。

地鎮祭は氏神様で

私たちが住んでいるのは大地の上であり、その大地は万物を育み命の糧をいただく大切なところ。その大地を使わせていただくため、建物を建て土木工事を行うにあたり、その大地をお守り頂いている神様をお迎えし、神々の恵みに感謝し、土地の平安と工事の安全を祈念する祭儀です。



編集後記

今年志氏神社の秋祭りが3年ぶりに盛大に斉行されました。伝統の獅子舞神事が取り行われたのはうれしい限りです。

また、「四泥の御神木」や夏祭りの獅子舞神事も中日新聞に取り上げていただきました。併せてCTVでも放映される等、地元の氏神様の志氏神社が四日市市民の方にも広く知っていただく機会があったことも重ねてうれしいことでした。

これからも年末年始にかけても様々な行事がございます。多くの方に地元の氏神様にお詣りいただいて、皆さんと共に平穏な日々をお願いしていきましょう。

節分祭 2月3日(金)

厄除祭 2月5日(日)



令和5年 厄年の年齢

いずれも数え年ですが
満年齢の方も承ります

男性の厄年

前厄	本厄	後厄
24歳 平成12年 生まれ 2000年	25歳 平成11年 生まれ 1999年	26歳 平成10年 生まれ 1998年
41歳 昭和58年 生まれ 1983年	42歳 大厄 昭和57年 生まれ 1982年	43歳 昭和56年 生まれ 1981年
60歳 昭和39年 生まれ 1964年	61歳 昭和38年 生まれ 1963年	62歳 昭和37年 生まれ 1962年

女性の厄年

前厄	本厄	後厄
18歳 平成18年 生まれ 2006年	19歳 平成17年 生まれ 2005年	20歳 平成16年 生まれ 2004年
32歳 平成4年 生まれ 1992年	33歳 大厄 平成3年 生まれ 1991年	34歳 平成2年 生まれ 1990年
36歳 昭和63年 生まれ 1988年	37歳 昭和62年 生まれ 1987年	38歳 昭和61年 生まれ 1986年
60歳 昭和39年 生まれ 1964年	61歳 昭和38年 生まれ 1963年	62歳 昭和37年 生まれ 1962年

方位除け 黒星の方に開運祈願の御祈禱を致します。

八方塞がり(四縁木星)

昭和17年生まれ	昭和26年生まれ	昭和35年生まれ	昭和44年生まれ
昭和53年生まれ	昭和62年生まれ	平成8年生まれ	平成17年生まれ

※2月3日・5日以外に御祈禱をご希望の方は社務所までご予約下さい

志氏神社 電話 059-331-0620

R5年

人も車も大祓式を

年越の大祓式

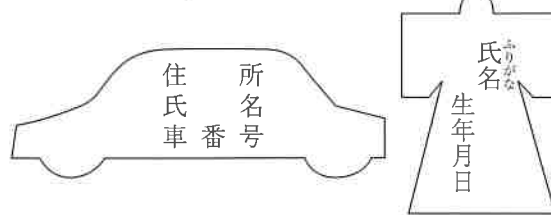
12月25日

午前9時より
午後4時まで

私たちや、私たちの車が、知らず知らずのうちにおこぼれしました罪や穢を、きれいさっぱりと祓い清める大祓式をとり行います。ぜひ当日ご参拝いただき、身についたり、車についた穢を祓い清めて、清々しい気持ちで新しい年を迎えましょう。

○人形と車形について

身代りとして「人形」と「車形」をお配りしています。人形の形代には、ご家族の名前と生年月日を書き、息を三度吹きかけて、一切の罪や穢を形代に移していただきます。



車形の形代には、住所・氏名・車番号を記入し、人形と同じように車の罪・穢を形代に移してください。○御祈禱について 罪や穢を移していただいた人形・車形は、当日神社へお持ちいただくか、町内の担当の方にお渡しください。

人形と車形は、祓の祖神・気吹戸主の大神さまに御祈禱してお祓いします。また社頭に設けた「茅の輪」をくぐって祓い清め、更には「忌火」で焼き上げいたします。



九月二十五日、羽津地区市民センターにて羽津郷土史と民俗研究会様が主催の第十六回『羽津学』〜羽津を丸ごと知ろう〜「歴史講座」にて講演をさせていただきました。本年、「はづ」第3集「神社その2(志氏神社)」がめでたく発売されましたことを受けまして大変恐縮ではございましたが講演の御縁をいただきました。

「志氏神社の歴史と年間行事」という題目で、ご参加いただきました皆様と冊子をご覧いただきながらお話しさせていただきました。総代・敬神婦人会・敬神青年会等神社にて御奉仕頂く機会の多い方々や、郷土史に詳しい皆様には十分ご存知の事かと思われるかもしれませんが、改めて当社のお由緒・恒例祭典や年中行事などの数多くの写真をご覧いただきながら解説させていただきました。より志氏神社を身近に感じ、関心・興味を深めて頂ける機会となったのであれば幸いです。なかなか見ることのできない一面も写真にございますので、まだお持ちでない方は是非お求め下さい！



秋祭・例祭 斎行

十月十五日 子どもみこし 奉斎

十六日 祭典 各種神賑行事斎行

宮司舞 浦安の舞

獅子舞 奉納



本年はコロナ禍のため中止されておりました子どもみこしの奉斎が三年ぶりに執り行われました。コロナ禍の為、やむなく中止のご決断をされました町もございましたが、白須賀町、羽津中第二、大宮第一・二、大宮第三、大宮西町、別名第四、羽津第二、八田第一・二、八田第三の各町にて、みこしの奉斎がございました。「わっしょい」の元気な掛け声により大神様のお力を羽津の皆様のもとへお届け頂き、各町内の平和と安全を祈願して頂きました。

十六日には祭典を斎行し、午後からはマジックショー(三重奇術愛好会)、大正琴アンサンブル(ブルーリース・リル)、津軽三味線(倭奏-WAKANA)、フラダンス(ホヌアラケア)の皆様が神賑行事として舞台上披露して頂きました。また宮司舞、巫女の浦安の舞や、石北宮守大神楽保存会、中北條獅子連中、中北條獅子連中の獅子舞が奉納されました。羽津地区まちづくり推進協議会様にご協力頂くことで様々な夜店が開かれ、多くの参拝者で賑わいました。

これからの神社行事 祝日には国旗を掲げよう

- 令和4年 12月中 御神札の町内頒布
- 12月25日 年越の大祓式
- 12月31日 除夜祭
- 令和5年 1月1日 歳旦祭
- 初詣
- 7日 古札焼納祭
- 1月15日 節分祭
- 2月3日 厄除祭
- 2月5日 建国記念の日
- 2月11日 祈年祭
- 2月17日 天皇誕生日
- 2月23日

合格祈願



受験シーズンになります。志氏神社でも合格祈願をお祈りされる方が増えています。御祈りや学業成就のお守り、絵馬に願いを込めてお参りいただいております。合格祈願といえますと、

学問の神様や頭の神様として縁の深いお宮へお参りされる方も多くございます。志氏神社といえはお祓いの神様ですが、ご本殿の右側にごさいます須賀社では天神さまとしてご信仰される菅原道真公を合わせてお祈りしております。御垣内ですのなかながご覧いただくに、少社ですが、少し右側を臨んでお参り頂ければ心身健康に勉強に励み、受験などの目標を達成できるような、お守り・お導きいただけることでしょう。



もつと知ろう！ 志氏神社

志氏神社からお参り 伊勢神宮、明治神宮、檀原神宮

志氏神社からでも、伊勢神宮、明治神宮、檀原神宮にお参りができることはご存じでしょうか。境内にはそれぞれの碑がございます。離れた場所もあり、向きも異なっておりますが、これはそれぞれのお宮の方角を臨んでお参りできるようなになっているからです。皆様も皇室縁のお宮にお参りして、日本・世界の平和をはじめ、皆様のお祈りこめてお参り下さい。



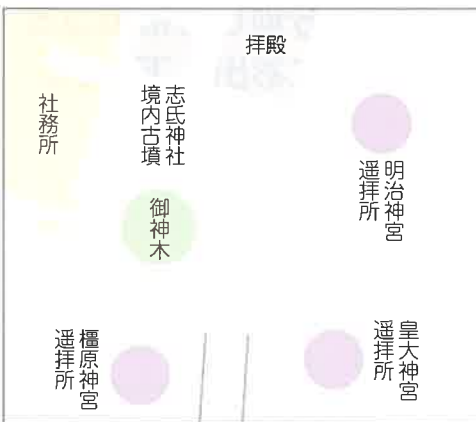
明治神宮遙拝所



皇大神宮遙拝所(伊勢神宮)



檀原神宮遙拝所



本地区では年末に神職が神社総代と共に各戸をお訪ねして特別にお清めお祓いをしてお神札を頒布しております。

御不在の際は神社へお参りの上、社務所にてお受け下さい。新しいお神札は神宮大麻、志氏大麻合わせて二千円の御初穂料です。



お神札とお守りの違いは？

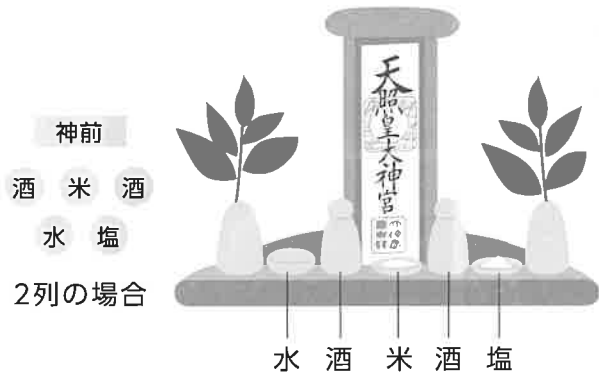
お守りは一人ひとりが厄除、交通安全など願い身に着けるものに対し、お神札は空間をお守りいただくものであり、家内安全などを願って祀ります。

なぜお神札をおまつりするの？

お神札は、私たちの生活をお守りくださる大切な存在です。感謝とともに、日々の生活の平穩をお祈りしてお守りいただきましょう。

神棚のお供え

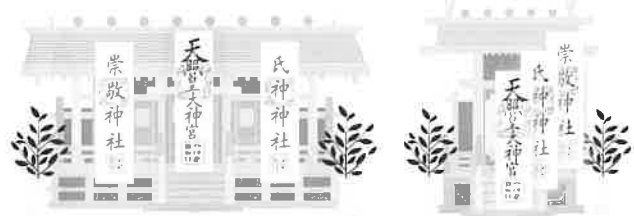
日々のお供えは米・酒・塩・水を図のようにお供えするのが基本ですが、出来るものからでかまいません。



神前
酒 米 酒
水 塩
2列の場合

お神札の並べ方

可能であれば文字の書いてある面を、南または東向きにします。



三社づくり
中央に神宮大麻、右に氏神社のお神札、左に崇敬する神社のお神札

一社づくり
手前を神宮大麻にし、氏神社のお神札、崇敬する神社の順

七五三縄頒布
12月25日〜30日 9時〜16時

七五三縄をお飾りして
明るいお正月をお迎え下さい。

●神具は年中取り扱っています。



どんど焼き

1月15日(日) 9時~15時まで

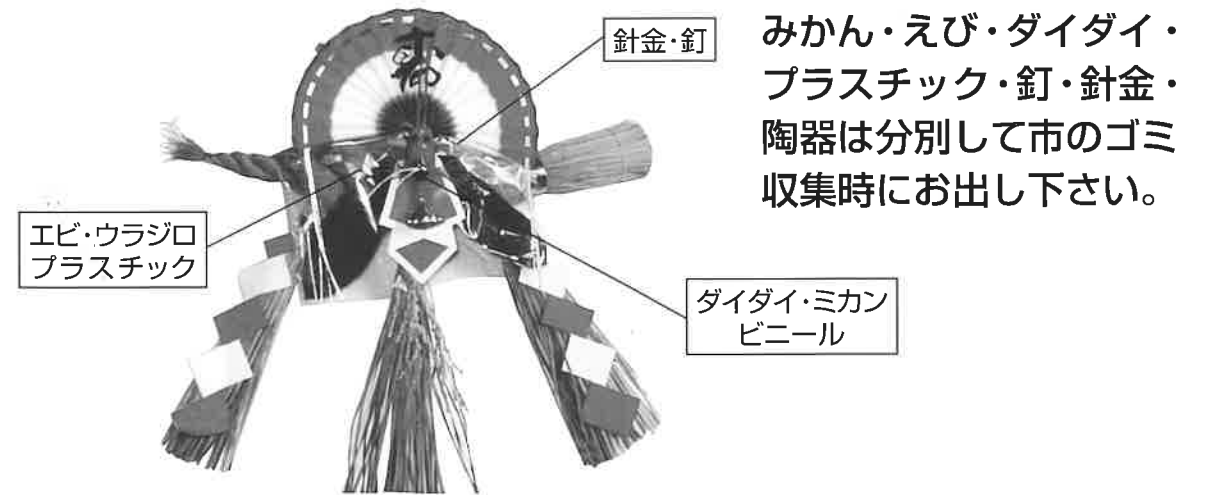
一年間御守護いただいたお神札・お守等の授与品や、松の内(1月1日~14日)が過ぎ、取り外した正月飾りを小正月の15日に感謝を込めてどんど焼きします。



お焚き上げできるもの
お守・お神札・注連縄
志氏神社授与品

お焚き上げできないもの
餅・みかん・袋・針金
ぬいぐるみ・人形

ご注意 注連縄(しめなわ)



自然環境をまもるため皆様のご協力をお願い致します。